

式辞 令和8年度 北条清新高校 入学式

春の息吹が感じられるこの佳き日に、東に仰ぐ高縄山、そして鹿島を望む瀬戸内の穏やかな風土に抱かれたこの風早の地において、愛媛県立北条清新高等学校の開校式並びに第一回入学式を挙行できますことは、私たち教職員一同にとって、大きな喜びでございます。

ご来賓の皆様には、ご多用の中、ご臨席を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

また、これまで深い愛情をもってお子様を支えてこられた保護者の皆様に、心からお祝いを申し上げます。

ただ今、入学を許可された昼間定時制課程72名、通信制課程150名の新入生の皆さん、入学おめでとうでございます。皆さんの入学を、教職員一同、心から歓迎いたします。

本日、北条清新高校は開校し、新たな一步を踏み出しました。そして、その歴史の最初の一頁を刻むのが、ここにいる皆さんです。

皆さんは、この学校の「はじまり」をつくる存在です。そのことに、どうか誇りをもってください。

本校は、皆さんの夢を現実へと近づけるために生まれた学校です。そして、一人ひとりの可能性を信じ、その力を引き出す学校です。皆さんの可能性は、まだ誰にも測ることができません。それは、無限に広がる未来そのものです。

しかし、これまでの歩みの中で、思うように力を発揮できなかった人、自分をうまく表現できなかった人もいるかもしれません。あるいは、立ち止まった時間や、遠回りをしてきたと感じている人もいることでしょう。

けれども、どうか忘れないでください。山に登る道は、人の数だけあります。まっすぐ山頂へと向かう道もあれば、回り道をしながら進む道もあります。

遠回りをした人にしか見えない景色があり、出会えない人がいます。そして、その中でしか気づくことのできない自分自身があります。

皆さんのこれまでの歩みは、決して無駄ではありません。そのすべてが、これからの皆さんを支える大切な力になります。この広い世界のどこかには、必ず、あなたが輝く場所があります。

しかし、その場所は、待っているだけでは見つかりません。一步を踏み出し、探し続ける中で、はじめて見えてくるものです。北条清新高校は、その「探す」過程に寄り添う学校です。皆さんが自分らしく輝く場所を見つけることができるよう、教職員一同、全力で支えていきます。

本校は、地域とともに歩む学校でもあります。この北条の地に支えられながら、多くの人との関わりの中で、これまで新しい価値を生み出してきました。これから皆さんと一緒に、この地域の一員として歩んでいきます。

さて、先ほど開校式で御紹介いたしました本校の校歌は、この学校の願いそのものです。

本日は、作詞を手がけていただいた田丸 雅智 様、そして作曲をしていただいた加藤 昌則 様にも、遠路よりご臨席を賜っております。お二人に心より感謝申し上げます。

校歌の中には、次のような言葉があります。

「うまくはいかない 日々もあるけど そばにはいつでも 仲間の笑顔」

目標に向かって歩む中で、思うようにいかない日もあるでしょう。

そんな時、ふとした仲間の笑顔に救われることがあります。何気ない支えが、もう一度前に進む力になることがあります。

この歌詞には、そうした思いが込められているのではないのでしょうか。これまで松山東高校通信制でも大切にされてきた「ひとりじゃないんだ がんばろう」という合言葉にも通じる、心に響く歌詞であると思っています。これから私たちの心のよりどころとして、大切に歌い継いでいきたいと思えます。

今年は、本校にとっても、皆さんにとっても、挑戦の元年となります。

私たちは、「FIRST STEP ― それぞれの歩幅で一步前へ ―」をテーマに掲げました。大きな一步である必要はありません。人と同じ速さである必要もありません。大切なのは、自分の歩幅で、一步前へ進むことです。その一步は小さく見えても、確かに未来へとつながっています。どうか恐れずに、その一步を踏み出してください。

本日ここにいる皆さん一人ひとりの歩みが、北条清新高校の歴史となり、未来となっていくます。

今日という日が、皆さんにとって新しい人生の、誇るべき第一歩となることを心より願い、式辞といたします。

令和8年4月10日

愛媛県立北条清新高等学校長 菊池 正敏